

夏のフィナーレを飾る“大館大文字まつり”が8月16日開かれ、約16万人の人出でにぎわいました。

大町の歩行者天国に設けられた特設ステージでは、曲げわっぱ太鼓の競演や地元繊維工業会出品のファッションショーなどが行われ、まつりを盛り上げました。午後3時半、婦人会や市内の企業などから約4,000人が参加して大文字おどりがスタート。4時半にはぶっかけみこしが繰り出し、まつりは最高潮に達しました。メインイベントは、夜空を彩る日本一の大文字焼きと花火。去りゆく夏を惜むように、人々は雄大な光の芸術に見入っていました。



'88 大文字まつり

▶月居服装専門学校の生徒や幼稚園児がモデルとなって行われたファッションショー



▲結成して満1年、十二所天鳴太鼓



◀若さ爆発、ぶっかけみこし



◀八月六日に来館した英語指導助手、シーラ・リン・ナワタさんも大文字おどりに参加



▲歩行者天国では、ふだん歩けない路上に思いっきり落書き



▲キャー つめたい！氷の彫刻にふれて、子供たちは大喜び